

# 弥生販売 ソフトウェア開発キット(SDK)概要説明

弥生株式会社  
2009/11

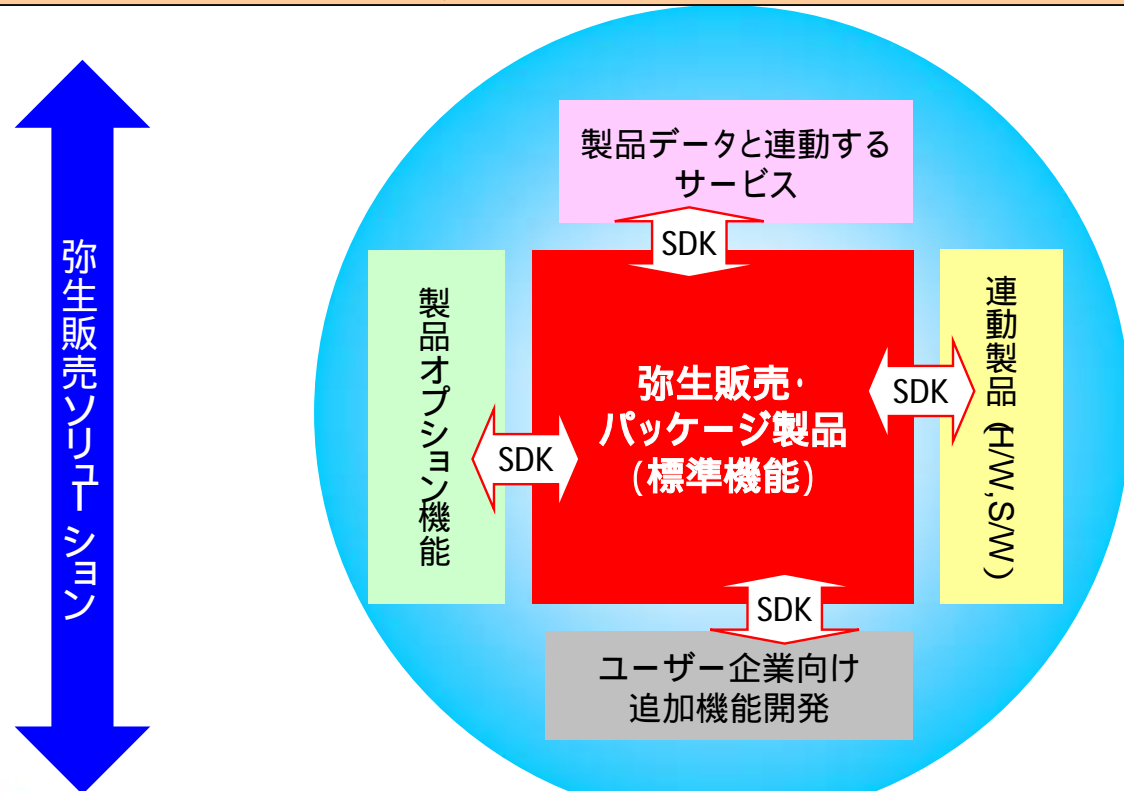


# 変更履歴

変更バージョン	内容
弥生販売10 Ver. 13.0.1	弥生販売10製品へ対応

# SDKの利用で広がる弥生販売の可能性

- ユーザー様にとっては、弥生販売のデータ有効活用ソリューションの拡大
- Sler様にとっては、カスタマイズによるビジネスチャンス
- アプリケーションベンダー様にとっては、連動製品やオプション機能のビジネスチャンス



## 弥生販売SDK対象範囲

- SDKで可能なカスタマイズ範囲
  - 弥生販売データベースからの直接「読み取り」
  - API経由での、弥生販売データへのシームレスな「書き込み」  
項目追加、画面カスタマイズ等はできません
  
- 対象製品
  - 弥生販売 10 / 09 / 08 / 07 ネットワーク
  - 弥生販売 NE 06 (ver.1.1.1以降)  
弥生販売プロフェッショナル / スタンダードでは対応しません

# 弥生販売SDK提供内容

## ■ SDK (Software Development Kit) 提供内容

### □ 書込モジュールの提供

- 製品インストール時(クライアント)に、一緒にインストールされる
- モジュールの単体配布は、しません

### □ 技術情報の提供

- 書込モジュールの技術仕様
- データベース・テーブル定義情報(読み取り用)

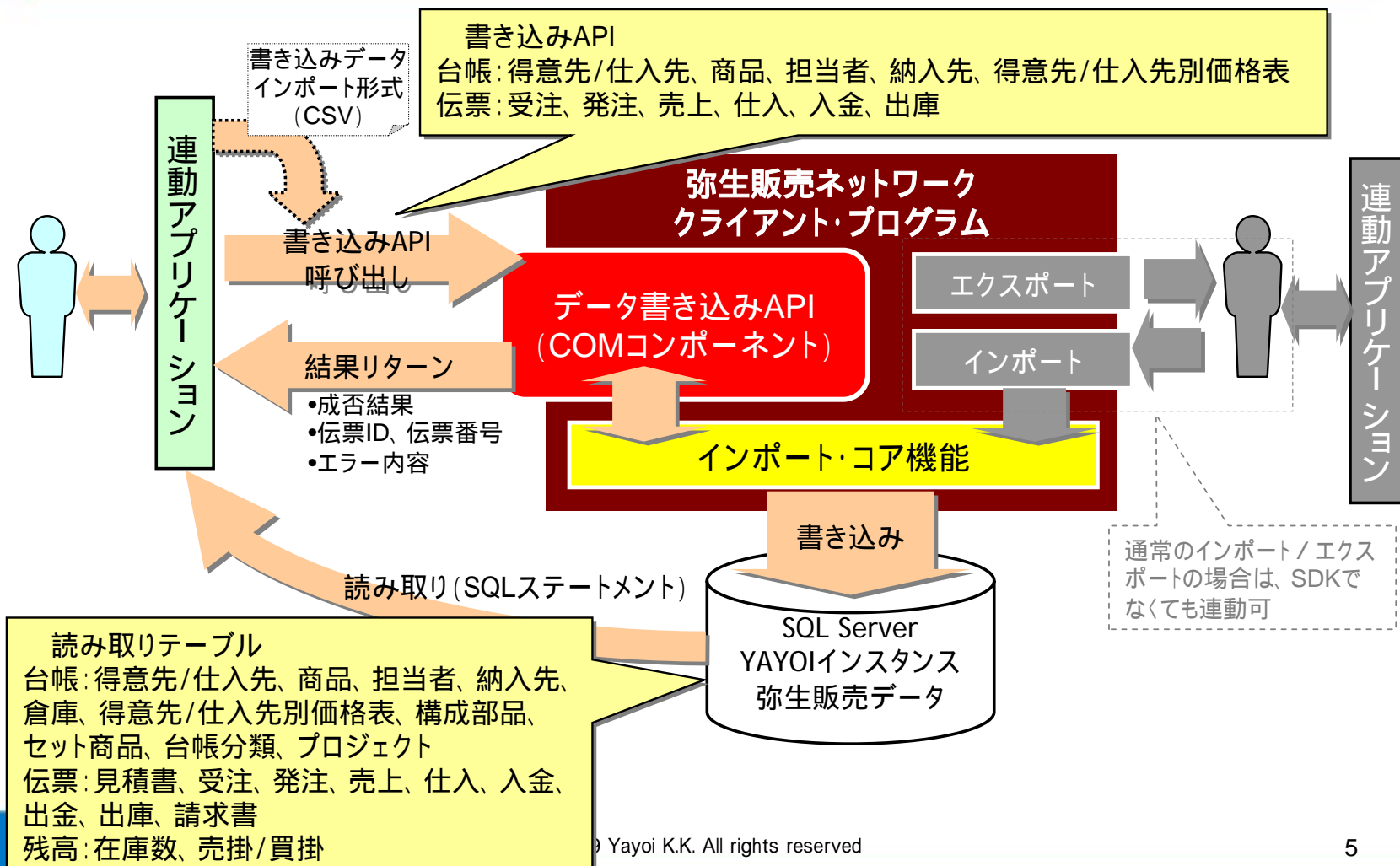
### □ サンプルソースコード(Visual Basic .NET版)

## ■ SDK提供先

- YSPP(弥生ソリューションパートナープログラム)加盟のパートナー向けに提供

# 弥生販売SDKの外部連動インターフェース

弥生販売 10 ネットワークの場合



# 弥生販売 SDKの技術メリット

## ■ 書き込み

- インポート・ベースなので、インポートに関する知識・スキルを活かして、連動開発ができる
- 既にテキスト連動している製品は、少ない開発コストで、シームレスな連動を実現可能
- インポート経由、API経由両方対応する場合でも、同じ技術ベースなので、開発コストが最小限で済む

## ■ 読み取り

- 一般的なSQL文のスキルがあれば、欲しいデータを自由に取得できる
- SQL文で、台帳・伝票明細を組み合わせたリ(join等)、集計させる(group by等)ことで、欲しい条件・形式でデータを取得できる

# 弥生販売「書き込み」内容について

弥生販売 09 ネットワーク以降の場合

	書き込み方法	対象データ
台帳	書き込みAPI経由	得意先、仕入先、商品、担当者、納入先、得意先別/仕入先別商品単価
伝票	書き込みAPI経由	受注、発注、売上、仕入、入金、出庫

- 書き込み基本仕様(CSV項目順、必須チェック、エラー処理)はインポートと同じ
  - 台帳は、同じ台帳コードがある場合は「上書き更新」される
  - 受注・発注伝票は、同じ伝票番号がある場合は「書き込みエラー」となる
  - 上記以外の伝票は、同じ伝票番号がある場合でも「新規書き込み」となる
- 同時利用(排他)は「インポートと同じ排他」「台帳・伝票入力と同じ排他」の2種類
- 書き込み時の「伝票番号自動付番」も可能
- 1伝票書き込成功毎に、「伝票ID」「伝票番号」「伝票日付」を返す
- 書き込み失敗時は、エラー発生毎に、「CSV行・列番号」「項目名」「エラー内容」を返すので、デバッグが容易
- 「伝票ID」を利用して伝票修正 / 削除が可能(Ver. 12.1.1以降で対応)

# 弥生販売「読み取り」内容について

弥生販売 09 ネットワーク以降の場合

	読み取り方法	対象データ
台帳	テーブル定義情報を全て公開	得意先、仕入先、商品、担当者、納入先、得意先/仕入先別商品単価、倉庫、プロジェクト、構成部品、セット商品、台帳分類
伝票	テーブル定義情報を全て公開	見積書、受注、売上、発注、仕入、入金、出金、出庫(伝票ヘッダと伝票明細は別テーブル)、請求書のヘッダ
残高	データ取得するためのSQL文例を公開 (一部フィールドを公開)	現在庫数(商品別、商品別×倉庫別)
		売掛残高(請求先別)、買掛残高(仕入先別)

- 開発言語の標準的なデータアクセス・コンポーネント(例:ADO、ODBCなど)で、SQL Serverに直接接続してSQLステートメントで、データを取得する
- 弥生販売のDB接続情報取得のAPIもあり
  - 弥生販売が前回使用した「SQLServer名」「データベース名」「ログイン」「パスワード」の取得が可能
- 各伝票は、「伝票ID」フィールドで伝票レコードに一意性
- 得意先台帳、仕入先台帳、商品台帳には、「更新日付」があるので、日付による「差分取得」も可能

## 注意事項

- 読み取りモジュールの再配布
  - モジュール自体の再配布は禁止
  
- 下記は、動作保証 / サポートいたしません
  - 対象製品(製品、バージョン)以外で、読み書きすること
  - テータベースの「指定した利用方法」以外で利用すること
    - 公開しているテーブル、フィールド以外にアクセスして、データ読み取りすることのみを、認可
    - 禁止事項例:
      - ✓ DBテーブルへの、直接書き込み・変更・削除 (SQL文を用いた変更など)
      - ✓ DBスキーマの変更 (テーブル / フィールドの追加、ビューの追加、ストアド・プロシージャ作成など)

## 参考: 弥生販売 SDK応用例

ユースケース	連動イメージ
外部システムの受注データの書き込み	ECサイトやEDIなどで発生した受注伝票を、弥生販売に転送する
入金取り込み	外部の銀行システムなどから、口座振込み情報を取得して、入金伝票として弥生販売に転送する
在庫棚卸	外部アプリで棚卸データ(出庫伝票)を作成し、棚卸結果を弥生販売に転送する
独自に売上集計を作成	弥生販売の売上データを利用して、独自の条件や、複数テーブルを連結したデータを集計し、独自フォーマットで出力する

# 参考: 弥生販売 API プログラム例 (VB .NET)

```

YayoiHanbaiSdk.SetDataName("弥生トレーディング") 'データベース名の設定
YayoiHanbaiSdk.SetLoginUserName("sdk")           'ログインユーザー名の設定
YayoiHanbaiSdk.SetLoginUserPwd("sdk")           'ログインユーザーパスワードの設定

    If YayoiHanbaiSdk.Open Then                   'データベースを開く

        YayoiHanbaiSdk.SetTextFileName("C:¥Uriage.csv") '使用するテキストファイル
        YayoiHanbaiSdk.SetWritingMode(2)           '書き込みモードの設定 --- 伝票排他
        YayoiHanbaiSdk.SetAutoDemban(1)           '伝票番号自動付番の設定 --- 自動付番する
        YayoiHanbaiSdk.SetObjectType(103)        '書き込み対象データ --- 売上傳票
        If YayoiHanbaiSdk.IsExecute(103) Then    '実行権限の確認

            If YayoiHanbaiSdk.Import() Then      '書き込み実行
                .
                .
                .
            
```